

### <目的>

地域医療構想調整会議にて、医療機関が策定した「新公立病院改革プラン」の内容を説明し、その内容を島しょの医療関係者が共有し、島しょにおける課題の解決等に向けた議論に役立てる。

### <説明方法>※

各病院のプランをもとに、「これまでの調整会議におけるご意見」(次ページ参照)を踏まえ、「自院が地域において、どういう機能・役割を果たすか」について、1病院当たり10分程度で説明をお願いします。ご説明の後、以下の項目を中心に意見交換をしていただきます。

#### 意見交換テーマ

- 本土医療機関と島しょ医療機関の連携について
- 離島同士の医療機関の連携について
- プラン策定病院が自院の持つ機能を活かすために、他の医療機関に求めることについて

※平成30年2月7日付医政地発0207第1号「地域医療構想の進め方について」により、地域医療構想調整会議において、「新公立病院改革プラン」「公的医療機関等2025プラン」について協議を行うこととされている。

## 本土医療機関と島しょ医療機関の連携／離島同士の医療機関の連携について

- ・ 島しょの診療所は自治医大からの派遣の医師が多く、3月末で医師が変わる。その際、広尾病院に入院している患者であっても、医師間での引き継ぎ漏れがないよう、広尾病院からも3月末時点で島しょから受け入れている患者の情報を提供して欲しい。(新島)
- ・ 広尾病院に定期的に受診している患者であっても、紹介状のやり取りをきちんとできればよい。(紹介状がないまま受診しているのか、受診中断となっているのかが把握できない。)(新島)
- ・ 広尾病院から退院する場合、転院ではなく自宅退院扱いとなるため、看護サマリーがついていないが、島での在宅医療の提供方法を考えるためにも看護サマリーを提供して欲しい。(神津島)
- ・ 代診医を広尾病院から積極的に派遣して欲しい。(青ヶ島)
- ・ 広尾病院からの退院時に、一度、内地で転院した上で島に戻ることもあるかと思う。島の診療所では、転院した事実がわからないことも多いため、広尾病院から転院した際に、情報提供してもらえると助かる。(小笠原)
- ・ 今後は離島同士の連携や、本土における急性期対応以外の入院についても検討してもらえるとよい(青ヶ島村・三宅村)
- ・ 本土や八丈島の施設等とも連携を取っていきたい(青ヶ島村)

(その他の意見については、参考資料1参照)